

## 放課後の子どもの居場所、「無料」継続を

### 「無料」継続求める会が審議会委員に「申し入れ書」手渡す

12月27日、長野市社会福祉審議会の児童福祉専門分科会が開かれ、「児童館・児童センター・子どもプラザの『無料』継続を求める会」の皆さんが、審議会委員に直接自分たちの思いを届けようと会場前で申し入れ書を手渡しました。このようすは、夕方のテレビニュースでも報道されました。



審議会会場入り口で委員に申し入れ書を手渡す「会」のパパ・ママたち。

現在、児童館や児童センター、子どもプラザで放課後を過ごす「放課後子ども総合プラン」事業は、延長料金やおやつ代を除いて原則無料になっています。このことは優れた子育て支援策として市民の評価を得て、利用者も増加してきました。

ところが今般、長野市が「受益者負担」として有料化の方針を示し、全国の利用料の例示を行いながら検討を進めています。

全国では、「放課後健全育成事業」と「放課後子ども教室」をそれぞれ運営し、児童館や放課後子ども教室などは、ほとんど無料です。

ところが長野市は、この二つの事業を一体で進めてきた経過があり、有料化を行えば子どもたちの無料の居場所がなくなってしまうことになります。

利用者へのアンケートでは、「有料化になると利用をやめる」と答えた人は13.4%、301人のぼります。中山間地では約300名が遠距離通学費の対象で、“スクールバスを待つためにプランを利用せざるをえない”状況もあります。

市民から、「必要な児童が利用できないことがないような対応をのぞむ」「子育ては受益者負担という視点で考える問題なのか」「安心して子育てできる長野市を全国に対し発信すべき」との意見も寄せられています。

申し入れ書では、①児童館・児童センター・子どもプラザの無料を継続すること、②放課後子ども総合プランの予算増、施設・環境のいっそうの改善をすること、③職員の待遇を改善すること、の3点を求めています。

当日の審議会では、「有料化は厳しいので減免措置を充実すべき」「貧困率は上がっているので再考すべきでは」との意見もありましたが、「議論を戻すことはできない」「有料化にして施設を充実すべき」「市民が驚かない金額からスタート」との意見があり、具体的に「2,000円」との案が出されました。

## 署名をよびかけ 1月上旬提出予定

同審議会は次回1月12日に開催されます。「無料」継続を求める会は、市民から署名を集め、1月上旬に長野市へ提出する予定で、署名の協力を訴えています。

日本共産党市議団も協力しています。ご協力をお願いします。